

JUN 2013

近畿大学医学部 附属病院 広報誌

Vol.

10

KIZUNA.10

きずな



理念

患者本位の開かれた病院として、
安全で質の高い先進医療を提供します。

基本方針

1. 特定機能病院として、医学医療の進歩に関与し、社会に貢献します。
2. 教育病院として、人に愛され、信頼され、尊敬される医療人を育成します。
3. 南大阪における基幹病院として地域医療に貢献します。
4. 働きがいのある病院として、チーム医療と環境整備に努力します。

発刊にあたって

近畿大学医学部附属病院 病院長 工藤 正俊

近畿大学医学部附属病院広報誌「きずな」第十号をお届けいたします。

さて本院にお越しの皆さま方は現在、附属病院の玄関前で急ピッチで進められている建築工事にお気付きになっておられることと思います。

この建物は「救急災害センター」でありまして、救命救急センター、脳卒中センター、心臓血管センター、救急総合診療センターの4つのセンターを核として一次救急から三次救急までを総合的に受け入れる救急・災害センターであります。この建物の完成に向けて現在、医師、看護師、コメディカルスタッフなどの配置や態勢作りも急ピッチで進められています。このセンターの完成が近畿大学の地域貢献の一環として地域の救急医療を支える一つの大きなシンボリックな事象となることを確信しています。

さて本号でも院内の様々な部署の活動を紹介しておりますので参考にさせていただきたいと思います。この冊子が、皆さまのお役に立てることを祈念致しまして第十号のご挨拶とさせていただきます。



C o n t e n t s

発刊にあたって	P.01
最新情報	P.02
防災の取り組みについて	P.04
特集「下肢人工関節置換術について」	P.05
特集「下肢人工関節置換術後のリハビリテーションについて」	P.06
医療安全だより	P.07
各診療科の紹介（精神神経科）	P.09
各診療科の紹介（産科婦人科）	P.10
基礎系教室の紹介（環境医学・行動科学教室）	P.11
中放だより	P.12
看護部だより	P.13
ほいくだより	P.15
卒業生の今	P.17
大阪狭山市の名所めぐり〈狭山藩陣屋跡〉	P.18
さやま検定	P.19
市民公開講座について	P.20
患者支援センターのご案内	P.21
各診療科のご案内	P.22

《受診される皆さまの権利》

近畿大学医学部附属病院では受診される皆さまが以下に掲げる権利を有することを確認し、尊重します。

1. 人間としての尊厳を尊重されながら医療を受ける権利
2. 病院全機能をあげて最善で安全な医療を受ける権利
3. 自らの心身の状態を理解するために当院から必要な情報を得る権利
4. 当院から必要十分な情報の説明を得た上で、自己の自由な意志に基づいて医療行為を決定する権利
5. プライバシーの保護を受ける権利
6. 必要に応じ、医療費用の内容に関する情報を受ける権利

《臨床倫理》

1. 医療を受ける人々の権利を最大限尊重するとともに、医療を受ける人々の最善の利益を追求する医療を提供する。
2. 医療を受ける人々の信条や価値観に十分配慮する。
3. 医療内容、治療の選択について詳しく説明し、医療を受ける人々の自由な意思に基づいて医療行為を決定する権利を尊重する。
4. 倫理的な問題を含むと考えられる医療行為については、法令やガイドラインを遵守するとともに、院内において十分審議検討を行う。



表紙写真：病院2階中庭

昨年4月から2階総合待合横の中庭をリニューアルし、四季の花々が植えられたガーデンとして皆さまにくつろいでいただける空間となりました。花々も彩づき、患者さまとご家族、当院スタッフのコミュニケーションの場となっています。

■ 最新情報

入院センターについて

入院センターでは、入院療養が必要な患者さまの入院予約手続き、入院日時の連絡、入院当日の手続き等を主な業務として行っています。昨年12月からは、入院案内の説明、入院時に必要な禁煙、バーコードリストバンド、感染症検査等の同意書の説明と同意の取得等の業務も行っております。また、看護師もスタッフとして加わり、入院時間診票の説明を入院前に実施し、入院までに患者さまに記載して持参いただくことにより、入院当日の病棟での入院手続きが簡素化され、患者さまがスムーズに入院できる体制をつくっています。また、病棟看護師の負担軽減にもつながっています。

最終的には、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、歯科衛生士等とも連携し、入院時の服用薬の

確認、栄養に関するチェック、検査説明等も行い、入院前に入院時の準備ができ、入院後はすぐに治療や検査を受けていただく環境をつくることを目指して、体制を構築しているところであります。

(文責：医事業務課 生田 勝也)



「病院コンシェルジュ」活動

「コンシェルジュ」とはフランス語で、「大きな建物の門番」という意味です。ホテルでは宿泊客の要望に応える総合接客係といった意味で使われています。我が国でもホテルだけではなく様々なサービス業種で「コンシェルジュ」がサービスを提供し始めており、医療機関においても受付等にコンシェルジュの名を掲げた係を配置している施設が出てきています。

当院において病院企画室が担当として2011年4月に外来正面入り口にコンシェルジュ窓口を設置し、業務を行っています。担当には看護師、安全管理部経験者や、検査技師経験者といった

病院業務に精通した人材を配置しています。

業務は、毎朝二階の車寄せに顔を出し、その日の患者さまの流れを見てから、外来・病棟を巡回し、施設利用に関するアドバイスや、受診相談のどを中心に対応するとともに、病院に対する貴重なご意見や、苦情、要望及び相談の窓口として良好な患者さま接遇にスキルを発揮しています。

コンシェルジュは正に病院のディーラーとして、いつも心を尽くしたもてなしが大事といった「一期一会」の気持ちを大切に、患者さまの満足度向上と職員の安全・安心に努めていきます。

(文責：病院企画室 土井 生資)



■ 防災の取り組みについて

今回は、皆さまに近畿大学医学部附属病院の防災の取り組みについてご紹介させていただきます。皆さまも「危機管理」「防火・防災対策」などと言う言葉はよく聞かれていると思います。私達も、1995年に発生した阪神淡路大震災、2011年3月11日に発生した東日本一帯に甚大な被害をもたらした東北地方太平洋沖地震のニュースを見て体が震えたのを覚えています。その時には、当院からも専門的な訓練を受けた災害派遣医療チームであるDMAT（ディーマット）を派遣しました。

各地で発生している火事のニュースを見ても他人事ではありません。私達は、災害時に病院に

来院される皆さま、職員自身の命を守る事を目的として防災訓練や、ワーキングチームを組んで院内の防災機器の確認も繰り返しています。

また、避難のための設備としても、皆さまが地上の安全な場所に避難できるように「点滅機能・音声誘導機能付き誘導灯」を外来などに順次更新しています。この装置は、火災等が発生すると、入口に付けている機械から、**ピカッピカッ**と光りが発射され、大きな声で**避難口はこちらです**と繰り返し放送されるものです。

（文責：総務課 金澤 光治）

≪消防訓練の写真です≫



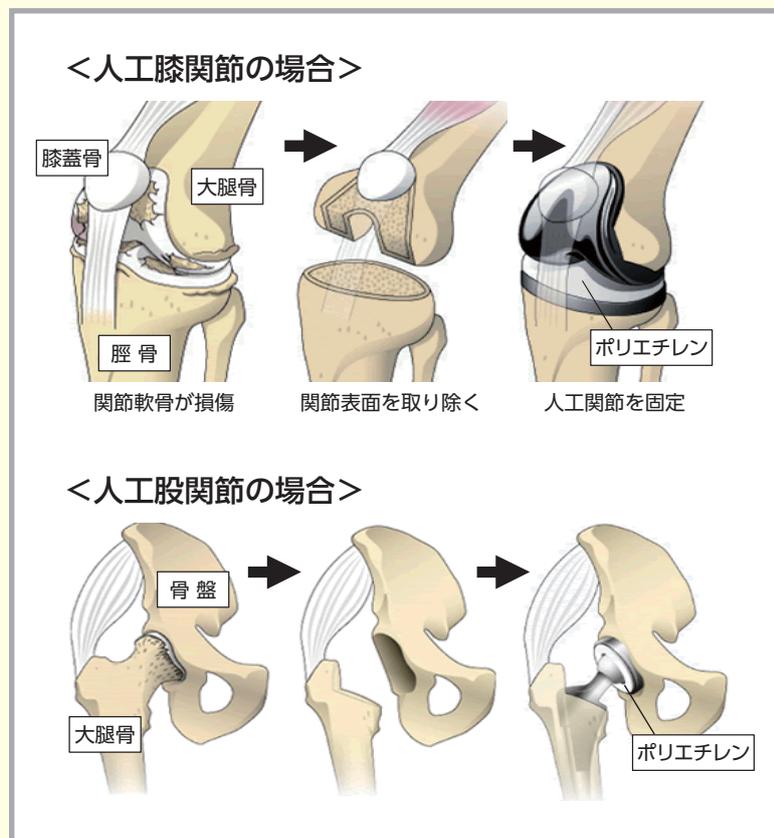
特集 「下肢人工関節置換術について」

人工関節置換術は近年インプラント製造技術、手術技術が飛躍的に進歩し、日本国内で膝関節は年間7万件以上、股関節は年間4万件以上の手術が行われており、変形した下肢関節の一般的な治療法になっています。人工関節置換術により関節の痛みがとれますので、歩行が困難であった方が楽に歩けるようになります。日常生活を楽に過ごせるばかりでなく、ハイキングに出かけたり旅行を楽しんだり、生活の質（QOL）の大きな改善が望めます。

対象となる方は、加齢とともに関節の軟骨がすり減り関節が変形する変形性関節症（へんけいせいかんせつしょう）の患者さまや、免疫の異常により関節が腫れて徐々に関節が壊される関節リウマチの患者さまです。

人工関節置換術は、これらの変形性関節症や関節リウマチによって破壊された膝や股関節の表面を取り除いて、人工の関節に置き換える手術です。人工膝関節の場合

には大腿骨（だいたいこつ）部品、脛骨（けいこつ）部品、膝蓋骨（しつがいこつ）部品の3つの部品からできています。さらに大腿骨と脛骨の部品は金属製で骨の表面に接着剤を用いて固定します。この間には軟骨の役割をするポリエチレンを入れます。同じように膝蓋骨部品はポリエチレン製で、膝蓋骨の裏側に固定されます。人工股関節においても同様で、骨盤（こつばん）部品と大腿骨部品の2つの部品とポリエチレンでできています。手術時間は2-3時間、麻酔は全身麻酔です。



近畿大学医学部附属病院における入院スケジュールを示します。手術前日に入院、手術当日はベッド上安静ですが、翌日からは歩行器を用いたトイレ歩行を含め、リハビリテーションが開始されます。術後1週間程度でステッキ歩行が可能となり、さらに階段昇降が可能となれば退院です。術後入院期間は2週間程度です。入院中にはほぼリハビリが終了するため、リハビリ通院の必要はありません。しかし、自宅での歩行や関節運動訓練は継続していただきます。

最近の人工関節の寿命はどのぐらいなのでしょう。個人差はありますが、20年以上の耐久力が期待されます。人工膝関節術後は正座が困難なことが多いため、椅子とベッドの生活が向いています。また人工股関節の場合、術後早期には股関節がはずれる（脱臼する）ことがありますので、脱臼しないよう入院中に日常生活動作の指導をいたします。

痛みを除き、歩行能力を改善する人工関節置換術の力は素晴らしいものです。人工関節置換術を受けることを考えておられる患者さま、どうぞ当院整形外科の関節外科専門外来（月・火）を受診して下さい。その際には、紹介状を持参していただければ幸いです。（文責：朝田 滋貴、赤木 将男）

■ 特集「下肢人工関節置換術後のリハビリテーションについて」

当院整形外科の下肢人工関節置換術は手術の創が小さく、回復が早いのが特徴です。例えば、手術翌日から歩行器を使ってトイレに行くことができます。3日目から杖での歩行練習を行い、1週後には階段練習へと進み、約2週間で退院となります。ベッドで寝ている期間が短いことは、体力の維持に重要です。

リハビリテーションでは、下肢の大きな役割である歩く能力を高めることに重きを置いています。筋の柔軟性を高めるストレッチ、筋力をつけること、立位・歩行姿勢の調整とバランス練習などを行い、歩く速さ（スピード）、長く歩ける力（持久力）、見た目（歩容）の総合的な能力の向上に取り組んでいます。

以下に、実際に行っているリハビリテーションの一部についてご紹介します。

《ストレッチについて》

ストレッチには色々な種類がありますが、ここでは下肢人工関節置換術後に自分で行えるものを記載します。動作はゆっくり痛みのない範囲で、15から30秒くらい時間をかけてストレッチして下さい（各々、3～5回）。

○人工膝関節置換術後のストレッチ

① 腰掛けて膝を伸ばします。



手でゆっくり太ももを押します。膝の裏が伸びている感じで結構です。

② 寝転んで太ももを抱え込みます。



太ももを抱え込んで、足の力を抜いて下さい。足の重みで太ももの前の筋肉が伸ばされます。

《筋力のつけ方》

速い速度で何度も繰り返すより、しっかり力を入れてゆっくり上げたり下ろしたりするほうが効果的です（各々、5～10回）。

○人工股関節置換術後の筋力のつけ方

① お尻あげ



ゆっくりお尻をあげて、空中で止めてゆっくりお尻を下ろして下さい。

② 太ももあげ



ゆっくり太ももを挙げ、途中で止めてから下げます。あまり太ももを挙げすぎないようにご注意ください（※90度以上は行わないで下さい）。

（文責：西野 仁、寺田 勝彦）

こんにちは！

安全管理部・医療安全対策室です。

われわれ医療安全対策室は、室長の辰巳、医療安全専任看護師の山田看護長、副室長の大磯准教授、保田講師、兼任の岩本／宮本看護主任、そして医療安全対策課のスタッフとして、田中課長以下、濱田／杉内課長、中岡、上田両事務スタッフで構成されています。

我々のチームの最大の使命は、“患者さまを医療事故から守ること！”に尽きますが、今、その内容は多岐多彩です。

安全管理部開設当初の我々の仕事の主眼は、医療事故に対する対応つまり、水道工事で言えば、起こってしまった水漏れを何とか最小限に止めること、そして予防策を講じることにありました。しかし、必死に行ってきた我々の医療安全活動も10年の月日を経て、その間の多くの経験や失敗から、その内容は少しずつ様変わりしています。

これまで、患者御家族の悲しい怒号、重労働の中で疲弊する医療スタッフ、ともすれば目的を失いそうになる我々の仕事の中で、見出してきた光。

それは、病院を横断的に活動していかない限り、職種の壁を越えない限り手に入らないのだと痛感しています。

確かに医療事故は、避けなければならない最大の難敵ですが、絶対に“ゼロ”に出来ない魔物でもあります。どんなに集中していても、医療事故は、ほんの些細な理由で、突然に起こります。皆さまの中で、生まれてこの方一度も間違い・勘違いの経験がない方がおられるのでしょうか。おそらく、おられないのではないのでしょうか。

そこで、我々の使命は、“間違っ人間”が行っている医療行為から事故を出来る限り減らすために何が出来るか？ということになります。そのために、いくつかの新しい試みを行っています。

グッドドクター運動

グッドドクター投票の結果

圧倒的 第1位

産婦人科 小谷 泰史 先生



グッドドクターに選ばれた小谷先生からお話を伺いました。

☆どのようなことを大切に診療されていますか？

医師は『患者さまあってのもの』『患者さまを尊重して、優しくりたい』と常に思っています。

☆診療中に気をつけられていることはどのようなことですか？

患者さまと視線が合うように座り、お話をじっくりお聞きするようにしています。出産は一生に一度ですし、良い気持ちで医療を受けて欲しいので、どんな些細なことでもしっかりお話を聞き取るように心がけています。

☆外来診療で大切にしていることや工夫していることはどのようなことですか？

患者さまは、私ではなく病院を信頼し来られていると思います。お待たせする訳にはいかないと考えています。患者さまの結果は、前日に確認し、スタッフの協力を得て8時半から外来を始めています。それでもお待たせしてしまった患者さまには、診察を始める前に、当たり前のことですが、まずは「お待たせしてすみません」と一言謝ってから診察を行っています。

☆入院診療で大切にしていることや工夫していることはどのようなことですか？

入院があれば、できるだけ早く患者さまのもとに行くようにしています。医師がそばに行くことだけでも安心して頂けると実感しています。手術日は、術中に患者さまのもとへ行くことがなかなかできないので、8時前に回診を行ってから手術に臨んでいます。

☆チーム医療で大切に思うことはどのようなことですか？

スタッフを大切にすること。スタッフを否定しない、頭ごなしに話さないように、また、スタッフの状況に合わせて業務をアレンジしています。外来、病棟のスタッフは、雰囲気も良く協力してくれており、今後も活性化された職場であって欲しいと思います。

☆今後の展望はどのようなことですか？

自分としては、内視鏡手術の技術を向上のための勉強をしていきたい。産婦人科医師の人員不足が深刻な問題です。産婦人科に魅力を感じて入局して頂けるように頑張りたいと思っています。

それは、水漏れを事前に防ぐように、医療事故を未然に防ぐことに力を発揮します。

例えば、こんな感じです・・・

- 全職員あげて、患者さまを含んだ風通しのいいチームワーム意識の形成、安全な医療を行う上での意識の共有のために：[全職員2000人対象TeamSTEPPS（医療安全の質を上げるための共有すべき知識とものの考え方）の研修](#)で、全職員の意識共有を目指します。
- 患者さまに対する業務への意欲の向上に向けて：大きな組織だけに、自分を歯車と感じてしまい、積極的な対応がしづらい職員もあり、具体的な改善を確約した、[とことん全職員満足度調査](#)を実施中。
- 院内の医療安全上問題のある場所、改善すべき点を見いだすべく：[医療安全パトロール](#)展開中です。
- 医療職員から見て最も素敵な医師の心がけを共有すべく：[グッドドクター通信！](#)
- 患者さまも医療安全に参加していただくための：[PDAによる医療行為確認活動・転倒転落予防プロジェクト](#)。
- 事故を未遂で終わらせるための、インシデント／ヒヤリハット（潜在的事故事例）を出来るだけ報告していただくための：[インシデント報告推進キャンペーン](#)。
- 質の良いカルテから、質の良い医療へ！：[カルテの質向上委員会活動](#)。
- 南大阪のどこでも安全な医療を！地域を挙げての医療安全情報の共有へ！：[南大阪医療安全ネットワーク活動](#)。

1日24時間では足りないというのが正直な気持ちですが、患者さまとともに、是非とも当院、ひいては南大阪地域の医療の質の向上に努めて行きたい！

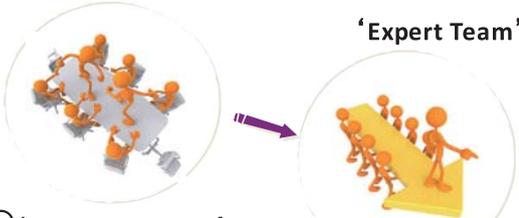
また、各プロジェクトの報告をさせていただきますので、ご協力のほど、宜しくお願いします。

（文責：安全管理部 辰巳 陽一）



チームステップス研修

まるごと2000人！
TeamSTEPPS（チームステップス）研修！
毎月1回土曜日 14:00～17:00 80人/回



‘Team of Experts’ → ‘Expert Team’



安全パトロール



精神神経科

当科ではメンタルヘルス全般の障害・疾患を幅広く扱い、特に、

- (1) 双極性障害（躁うつ病）
- (2) 児童思春期の精神疾患
- (3) 認知症（物忘れなど）
- (4) 院内他科患者の精神症状
- (5) 自殺企図者のケア

について積極的に診療・研究に取り組んでいます。

また先進医療「光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助」を西日本で最初に開始し、多くの症例について鑑別診断を行っています。

こころの病気は決してまれな病気ではありません。受診してよかったと感じていただける診療を心がけています。

(文責：切目 栄司)



産科婦人科

当科では各々専門医を擁し、主に下記の診療を行っています。

1. 婦人性器がんについては、手術療法・放射線療法・化学療法など集学的治療を行っています。手術療法は悪性腫瘍の根治性に対して最も重要であり広範性子宮全摘出術等を行っていますが、一方で妊孕性を保持する必要がある患者では、縮小手術を行い厳重な管理のもと子宮温存を図っています。

2. 子宮筋腫及び良性卵巣腫瘍については、腹腔鏡・子宮鏡を可能な限り使用し手術侵襲を最小限に抑える術式を行っています。

3. 不妊症治療については、総合的診断のもと各個人に最適な治療法を選択しています。

4. 合併症妊娠については、カラードプラーを用いた胎児発育管理、及び小児科・内科・心臓小児科との共同管理を行っています。

(文責：辻 勲)



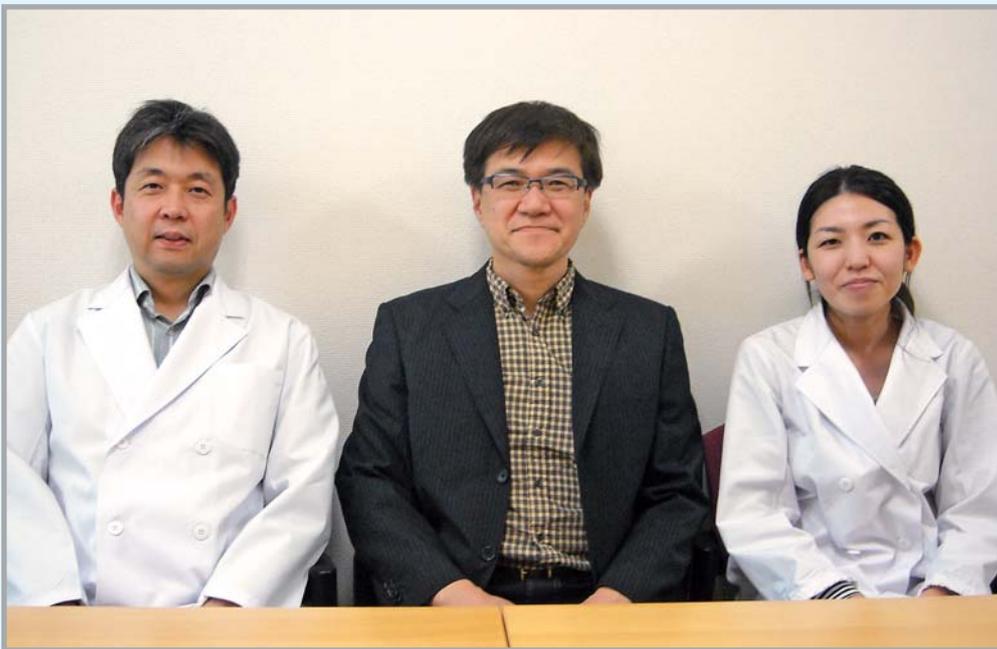
環境医学・行動科学教室

私たちは、呼吸器・循環器の障害、発がん、アレルギーなどに関係するたくさんの化学物質や微生物に囲まれて生活しています。これらが人の健康にどのように影響するか（健康リスク）、環境中の空気や水（海や川、水道水、お風呂）にどのように存在しているかを調べるのが「環境医学」です。最近話題の「生活習慣病」で、長年の積み重ねで体に悪いものを、人が理解して、日々の生活習慣を変えるにはどうしたらよいかなど、リスクを伝え理解し（リスクコミュニケーション）どのように避けるかを「行動科学」で研究しています。

教室員が、環境省や厚生労働省、世界保健機関（WHO）などでこれらの分野の専門委員として活躍し、環境中の化学物質や微生物による健康影響やリスク評価の研究を行っています。また、より健康で快適な住環境を目指し、居住者の住まい方を調査し、住宅内の環境や空気質の調査を行っています。行動科学の分野では、コミュニケーション能力の開発やストレスに耐えて成長するといった研究も行っています。

今ある種々のリスクを少しでも減らしていくことや、将来明らかになる健康リスクを今から少しでも避けていくのが当教室の使命です。

（文責：奥村 二郎）



■ 中放だより

中央放射線部には中央放射線部受付、アイントープ受付、放射線治療科・放射線診断科受付の三か所に受付があります。

今回は中央放射線部受付奥にある一般撮影室をご紹介します。

昨年1月と3月に一般撮影室6部屋の装置を入れ替えました。(1部屋は待合室に変更)従来の一般撮影室は各部屋で撮影する部位が限られていました。たとえば胸部撮影は第2、3撮影室、骨の撮影は第5、6撮影室などになっていました。このため患者さまが集中した時などは長い待ち時間が発生するという問題があり対応に苦慮していましたが、更新後はほとんどの撮影室でこの部位でも撮影できる環境になり、患者さまが集中したときでも少ない待ち時間で撮影を行うことができるようになりました。

また、新しい撮影室は患者さまのアメニティー面を考慮しています。小児撮影室(第2撮影室)には無機質な印象であった撮影装置をカラフルにカラーリングしたものを設置しました。チャイル

ドライブスペシャリストの方に意見をいただき、撮影室に入る前から、ワクワクさせる趣向として床に足跡を付けてみたり、撮影中に動いたり泣いたりすることをできるだけ防ぐようにアニメのDVDを上映するなどして子供の恐怖感などをできるだけなくすように工夫しました。

乳房専用撮影室(第12撮影室)は、女性の患者さまがほとんどですので、やさしい雰囲気作りを重視しました。間接照明を用い患者さまの緊張感を少しでも緩和できるような工夫を施し、更衣のプライバシーに配慮して個室感ができるように一人掛け用のソファを用意しています。乳房画像は高精細な画像ですので画像表示に多少時間がかかるため、室内にBGMを流して待ち時間でも患者さまの気持ちがほぐれるように配慮しました。

第7撮影室には最新の技術であるデジタルトモシンセシス装置を導入しました。この装置はデジタル断層画像が得られるため、一般撮影とCTの中間的役割を担うことができ臨床に役立っています。

(文責：山田 浩司)



中央放射線部受付



第2撮影室 (小児撮影室)



第12撮影室 (乳房撮影室)



第7撮影室

■ 看護部だより

看護師は、各科病棟、救命救急センター、中央手術部、各科外来、救急災害センター、中央放射線部、透析室、がんセンター、通院治療センター、光学治療センターにおいて、患者さまによりよい看護の提供に努めております。

今回は、55病棟を紹介いたします。



病棟の紹介 55病棟

55病棟は心臓血管外科40床・腎臓内科11床で、看護スタッフは看護師33名、診療補助員5名、病棟クーク2名の40名です。心臓血管外科の術前術後の患者さまと透析患者さまの看護を行

い、煩雑な業務の中で患者さまにとっても看護師にとってもより良い環境を目指して職員一丸になり頑張っています。

<看護長からの一言>

大変、忙しい病棟だと感じていますが、看護師みんなの力で元気に帰っていく患者さまを支えて

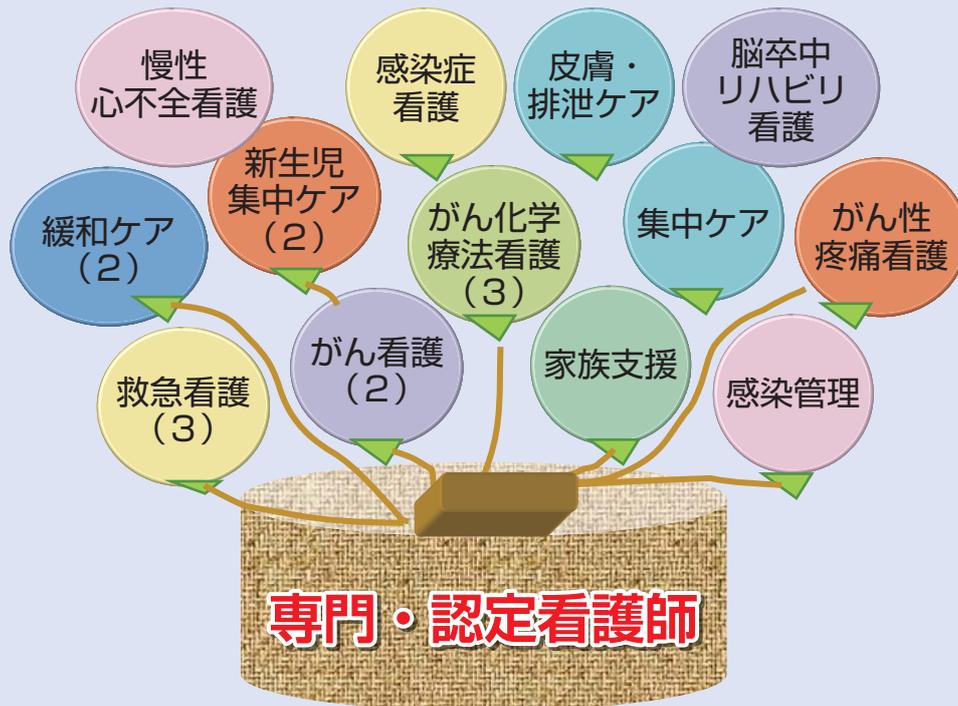
いるのだという気持ちを忘れずにこれからもがんばって行きたいと思います。(文責：高野 佳三)



■ 看護部だより

当院には、スペシャリストナース（専門看護師）5名、
エキスパートナース（認定看護師）17名が
それぞれの分野の役割を果たすべく日々活動しております。

今回は、がん性疼痛看護認定看護師を紹介いたします。



がん性疼痛看護認定看護師の紹介

現代は2人に1人が生涯のうちがんになるといわれる時代です。がんと診断され治療中、治療が終了して経過観察の方、さまざまな病状の患者さまが当院を訪れています。がんによる苦痛は取れないというイメージがあるようですが、痛みを始めとした苦痛は患者さま・ご家族の生活を脅かすのは明らかです。苦痛が緩和されれば患者さまの生活の質は上がります。痛みが取れると眠れるし、散歩に行ける、読書や旅行に行こうという気持ちにもなれる。そういったお手伝いがしたくてがん性疼痛看護認定看護師になりました。

現在私は「緩和ケアチーム」に所属しています。外来や病棟の患者さまにある苦痛な症状の緩和やご家族のサポートを行なう部署です。がんとひとことと言っても告知されたばかりの方や病状が進行している方、がんの種類によっても症状は様々で対応も変わります。苦痛が緩和されなければ

気持ちも不安定となってしまいます。気持ちのサポートも行ないつつ患者さまのしたいことができるように、安心してその人らしく過ごすことができるということを大切に、治療中のみならずご自宅で過ごすまでをサポートできるように医師・看護師・薬剤師など多職種や地域とも連携し、より良いがん性疼痛看護を行ないたいと思っています。（文責：緩和ケア室 竹久 志穂）



ほいくだより

10月18日にハロウィンお楽しみ会が開催されました。観客席は手作りの衣装をした子ども達でいっぱい…。

そして、大阪府立羽曳野支援学校近畿大学医学部附属病院分教室（以下 分教室）の子ども達が可愛い衣装姿で登場！
素敵な合奏と手話歌を披露してくれました。

ナースステーションからは看護師や医師も仕事の手を止めて見入ってました。その後は、ボランティアの方による大型絵本「はらぺこあおむし」の読み聞かせで、歌が流れると、歌を知っている子ども達が口ずさんでいました。それから、ビンゴ大会で景品を受け取って、みんなニコニコいい笑顔でした。



12月20日はクリスマス会でした。分教室の子ども達はエプロンシアターや歌や踊りを見せてくれました。お揃いの衣装がとても可愛くて、会場からはたくさんカメラが向けられていました。研修医からはアンパンマンに扮してクイズ大会が開かれました。看護師・保育士・ボランティアからはクリスマスにまつわる不思議なお話劇をプレゼント。最後にサンタさんが登場して、みんなにプレゼントをくれました。小児病棟には25日にもサンタとトナカイが登場！風船を持って遊びに来てくれました。





2月28日はひなまつりお楽しみ会。栄養部からはいつもイベントの為に可愛いおやつを用意してもらっていますが、今回はお雛様・お内裏様の顔のクッキー！カメラで写真を撮る子や「食べるのがもったいない！」と言う子どももいました。お楽しみ会は、分教室からベッドサイドで授業を受ける生徒達のVTRが上映され、病室で合奏をしたり英語のスピーチを披露したりしていました。会場にいる生徒からは、詩の朗読や劇が披露されました。研修医からはドラえもんクイズに会場が盛り上がり、ボランティアの方によるディズニーメロディー弾き語りをしつとり聴いて、看護師からは雛祭りの由来の劇がありました。最後にお雛様・お内裏様から風船のプレゼント。毎年恒例の「顔はめパネル」で記念写真を撮って、少し早い雛祭りを楽しみました。 (文責：京極 恵)



※写真は保護者の了承を得て掲載しています。

卒業生の

今

当院は「教育病院として、人に愛され、信頼され、尊敬される医療人を育成します。」を基本方針の1つとし、**医育機関としての役割も担っています。**

大学・病院で研鑽され、現在、各方面でご活躍されている卒業生の先生をご紹介します。**第3回は昭和57年卒で、河内長野市三日市町で開業されている 神戸 章 先生です。**



神戸 章 先生



私は昭和57年に近畿大学医学部を卒業し、故山本俊夫教授の主宰されていた第二内科学教室（消化器、内分泌、糖尿病）に入局しました。近畿大学医学部附属病院、北野病院、関連病院で勉強させていただき、平成10年に現在の地で開業しました。和歌山との県境まで3～4キロという片田舎で開業しますので、開業するまで外科・整形外科・小児科・在宅医療等、色々勉強し用意もしました。実際、開業の当初5年ぐらいは往診にも行き勉強したことが役立ちました。ランドクルザーなどという車で走り回り、田んぼのあぜ道を蛇におびえながら（私は蛇が大の苦手なのです）患者さまのお宅に訪問診療に行ったものです。これぞ思い描いていた開業医と、訪問診療を堪能していました。しかしその後、近隣に小児科・整形外科・眼科がそれぞれ開業し、また私の診療所自体の内視鏡検査の数が増加して、訪問診療に行く時間もなくなってきました。今は内科の外来診療および消化器科の検査を中心とした診療所になっています。最初目標としていた家庭医とはかなり違いかたちになり、自分の診ていた患者さまも往診に行きにくい状況になって、これでいいのか？と悩んだときもありましたが、気持ちを変えて、近隣の近畿大学出身の先生方やその他の先生方に多くの検査を依頼いただくことに、感謝と喜びを持って頑張っています。

近くに多くの卒業生の先生方がおられるという事はネットワークを作りながら気心の知れた者同士、地域医療を共におこなっている、大げさな言い方かもしれませんが、人生ともに歩んでいる、とても申しますか、とにかく楽しく感じています。

日々の診療の中で母校である近畿大学医学部附属病院が近くにあるのは、私が直接担当の先生を知っている場合もありますが、知らなくても紹介するとき大きな安心感を感じながら紹介できるのも本当にありがたいことと考えています。

今後も近畿大学医学部附属病院を中心とした多くの先生方のお世話になると思いますがご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



かんべ診療所

(内科・消化器科)

大阪府河内長野市三日市町 405-7

0721-64-8988

診療科目	受付時間	月	火	水	木	金	土
内科・消化器科	9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
	16:30～19:30	○	○		○	○	

※備考 休診日：水・土曜午後、日曜、祝日

大阪狭山市の名所めぐり 〈狭山藩陣屋跡〉

江戸時代の狭山には、北条氏という大名が住んでいました。北条早雲（伊勢宗瑞）の子孫にあたり、1590年（天正18）豊臣秀吉に敗れて小田原城が落城するまでは、関東一円を支配する戦国大名でした。

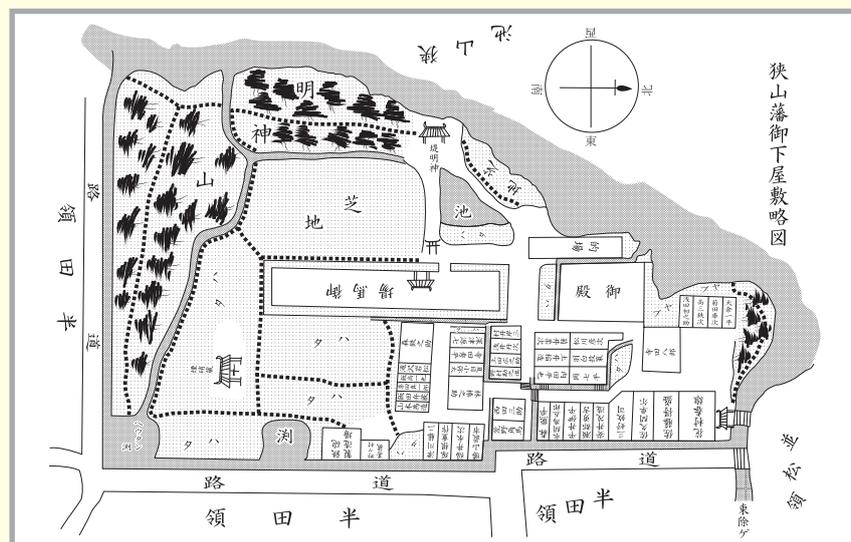
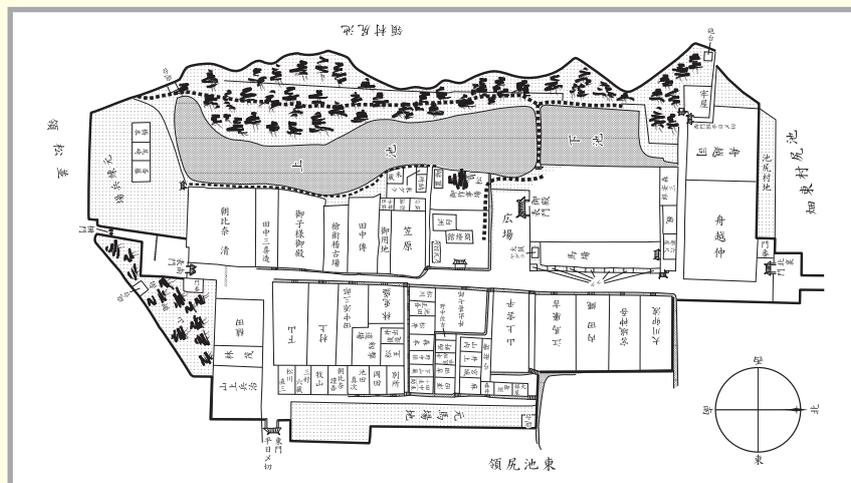
幕府が3万石以下の大名に築城を許さなかったので、小規模な大名は、城から天守閣・石垣・水濠を省略した陣屋という拠点を領地内に設けました。狭山藩陣屋は、上屋敷と下屋敷に分かれていました。

上屋敷（東池尻三丁目、狭山三～四丁目）は、1616年（元和2）に第2代藩主北条氏信が着工し、面積5万坪で藩領池尻村にありました。こうして明治維新まで12代続く狭山藩が誕生します。

北端に藩主御殿、その近くに役所と藩校簡修館があり、その周囲を上・中級藩士の屋敷が囲みました。中高野街道・下高野街道・廿山街道を巧みに取り込みました。西端の段丘崖を巧みに活用し、西の御庭池と南東の東除川を水濠に利用し、外周には竹垣で囲んだ惣構を設けて防御機能を高めていました。

下屋敷（狭山二丁目）は、面積1万坪で半田村の土地を借りていました。かつてのさやま遊園地に相当し、藩主別邸と中・下級藩士の屋敷からなり、鉄砲製造所や焰硝蔵などもありました。狭山支配の永続性をめざして1730年（享保15）に狭山堤神社（現、狭山神社摂社）を陣屋内に遷座させました。

狭山藩は、廃藩置県を待たずに1869年（明治2）に版籍を奉還します。藩主や多くの藩士たちも狭山の地を離れ、陣屋の大半は畑となりました。（寄稿：大阪狭山市教育委員会事務局 吉井 克信）



さやま検定

『さやま検定』とは、大阪狭山市の文化・歴史・現在の状況などの知識を問うご当地検定です。古事記や日本書紀にも登場し、現存する国内最古のダム形式のため池として有名な「狭山池」を有する大阪狭山市への理解を深め、地域を好きになってもらおうと、市民らでつくる「狭山池まつり実行委員会」が主催するご当地検定です。得点に応じて、狭山博士～5級までの認定級が設けられ、合格者には認定証が送られます。過去の問題を紹介しますので挑戦してください。

1 大阪狭山市の市章は、どれですか。



6 現在、大阪狭山市には、小学校が何校ありますか。

- A 3校
- B 5校
- C 7校

2 狭山池は、これまで何度も改修工事がおこなわれましたが、鎌倉時代に狭山池の大改修をおこない、東大寺復興でも功績のあった僧は、次のどれですか。

- A 法然
- B 重源
- C 栄西

7 大阪狭山市の水道水を、市民1人につき1日平均どれだけ使用していますか。

- A 約140リットル
- B 約240リットル
- C 約340リットル

3 毎月1回の清掃ボランティア「狭山池クリーンアクション」に10回参加するともらえるオリジナル・ピン・バッジの図柄にないのはどれでしょう。

- A 龍
- B カルガモ
- C 取水塔

8 現在、大阪狭山市の電話の市外局番は、何番ですか。

- A 072
- B 0723
- C 07236

4 南海高野線金剛駅の「金剛」は何に由来するのでしょうか。

- A 金剛山が眺望できるから
- B 新西国霊場第7番札所天野山金剛寺に由来する。
- C 四国八十八所霊場出開帳の会場「金剛園」に由来する。

9 現在、大阪狭山市を通る国道は、どれですか。

- A 国道308号
- B 国道309号
- C 国道310号

5 現在、大阪狭山市のごみは、どこの市にある処理工場で、処理していますか。

- A 河内長野市
- B 大阪狭山市
- C 富田林市

10 自転車を放置禁止区域に放置して撤去されました。現在、引き取り保管料はいくらですか。

- A 500円
- B 1,000円
- C 1,500円

■ 市民公開講座について

近畿大学医学部では毎年、薬学部と共催で市民公開講座を開催しています。

これは市民の方が日頃感じている健康問題や病気に関する悩みを、医学部・薬学部の専門の先生がプロジェクターを使って画像や写真をおりまぜながらわかりやすくお話することで、正しい知識を身につけ医療を身近に感じてもらい、よりよく生活を過ごす手助けができればと企画したものです。

大阪狭山市・大阪狭山市医師会・大阪狭山市教育委員会の後援をうけ、第25回まで開催してきました。

今までの講演内容は、脳卒中や認知症、膝の痛みといった身近な健康問題を取り上げており、毎回200名前後の市民の方の参加をいただきました。

平成25年度は「糖尿病」を取り上げる予定で現在準備を進めており、日程が決定しましたらポスターやホームページでご案内をさせていただきます。

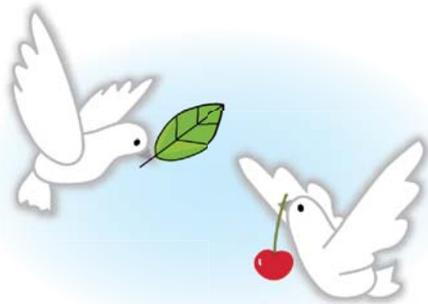
参加につきましては当日自由参加となりますので、興味のある方はぜひご参加いただければとお待ちしております。

(文責：井上 純子・烏野 肇之)



近畿大学医学部大講堂にて開催

患者支援センターのご案内



患者さまの療養生活にまつわる様々なことに対応する総合相談窓口として、他機関や地域そして社会との連携の架け橋となるのが患者支援センターです。

患者さま・ご家族・地域の開業医の先生や医療機関、介護施設や介護事業所の方々そして院内のスタッフからのご相談やご依頼をお引き受け致します。

患者さまとの信頼関係を大切にして受診される皆さまの権利を守っていききたいと考えております。

医療相談

- ・医療費制度・費用に関する相談
 - ・公費負担・労災・交通事故等の手続き
 - ・苦情 等
- (患者様相談窓口併設)
(肝疾患相談支援センター併設)

福祉相談

- ・医療費等経済的な問題
- ・社会保険・社会福祉制度について
- ・心理的問題
- ・社会復帰 等

療養支援

- ・在宅での看護ケアの継続
- ・介護保険の申請やサービスの調整
- ・訪問診療医や転院先の選定
- ・カンファレンス開催 等

医療連携

- ・診療の予約
- ・かかりつけ医選定
- ・セカンドオピニオン 等



受付時間
月～金 9:00～17:00
土 9:00～12:00

患者支援センターの場所





**ノースモーキング
ホスピタル宣言**

健康維持・増進のために、タバコのない病院を目指します。
皆様のご協力をお願いします。
病院長

院内および敷地内は全面禁煙です。

入院される患者さまには、禁煙に関する同意書を記入していただいております。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

《個人情報保護について》

個人情報保護について近畿大学医学部附属病院では患者さまの情報の取り扱いに万全の体制で取り組んでいます。

1. 個人情報の利用目的について当院では、患者さまの個人情報を診療・教育などの目的で利用させていただくことがございます。これら以外の目的で利用させていただく必要が生じた場合には、改めて患者さまからの同意をいただくことしておりますのでご安心ください。
2. 当院では、患者さまの個人情報の開示・訂正・利用停止等につきましても、「個人情報の保護に関する法律」の規定に従って進めております。

各診療科のご案内

3F	産婦人科、小児科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、疼痛制御センター(麻酔科)、形成外科、歯科口腔外科、東洋医学診療所
2F	循環器内科、内分泌・代謝・糖尿病内科、消化器内科、血液・膠原病内科、腎臓内科、神経内科、腫瘍内科、呼吸器・アレルギー内科、メンタルヘルス科、外科(上部消化管、下部消化管、肝胆膵)、外科(肺)、外科(乳腺内分泌)、外科(小児)、脳神経外科、心臓血管外科、心療内科、漢方診療科、緩和ケア科
1F	整形外科、放射線治療科、放射線診断科、リハビリテーション科

外来受付時間

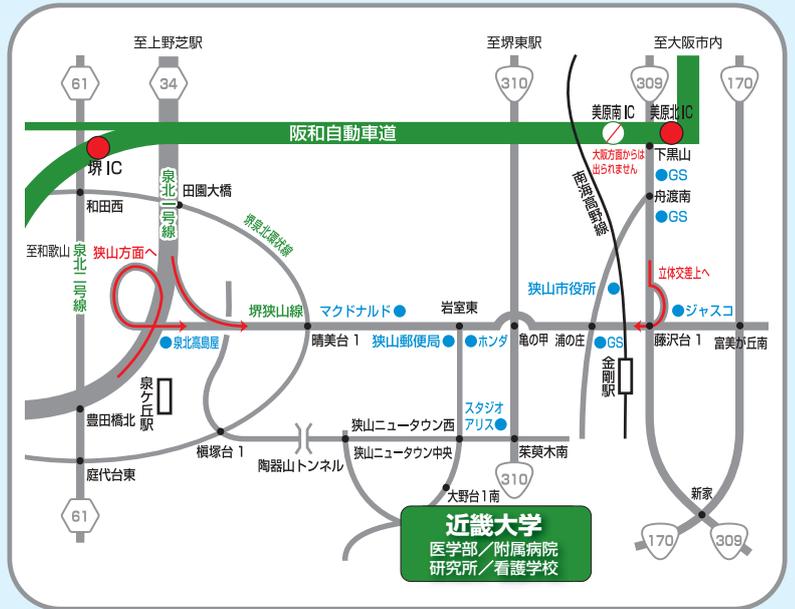
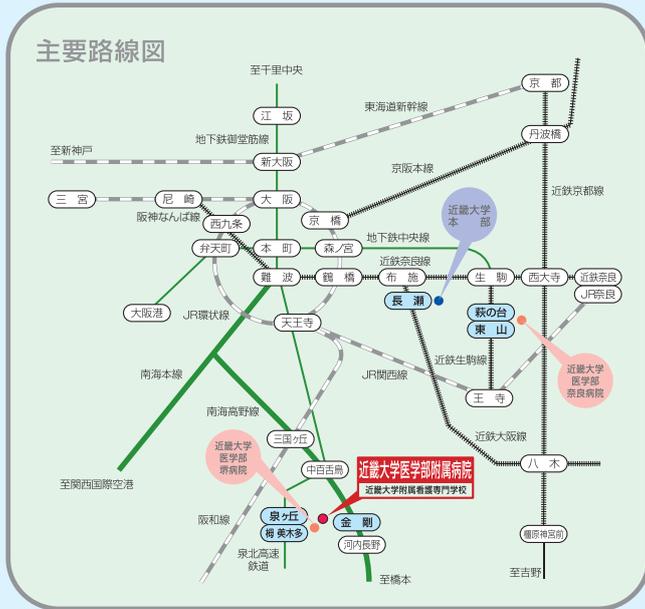
平日	土 曜	休診日
予約外又は紹介状をお持ちでない患者さま 8時30分～11時30分	8時30分～11時00分	日曜日・祝日 創立記念日(11月5日) 年末年始(12月29日～1月3日)
紹介状をお持ちの患者さま 8時30分～14時00分		

※患者さまが当院での治療等を必要とされる場合、紹介医からの紹介状が原則となっておりますので、なるべく当院宛の診療情報提供書(紹介状)を持参頂きますようお願いいたします。

※初診時に紹介状をお持ちでない方には、保険外併用療養費として5,250円(消費税込み)をご負担頂きます。

※診療科によっては、完全予約制や休診日もございますので、詳しくは各診療科にお問い合わせください。

アクセス



お知らせ

広報誌「きずな」のバックナンバーは、病院ホームページよりご覧いただけます。

アドレス <http://www.med.kindai.ac.jp/huzoku/>

編集後記

広報誌「きずな Vol.10」をお届けします。発刊から早5年、10号をお届けすることができました。これも一重に皆さまのおかげであると深く感謝いたします。

これからも、皆さまの貴重なご意見を聞かせいただき、さらに充実した内容を提供できるよう努力していく所存です。今後とも、皆さまとのつながりを大切にする「きずな」をよろしくお願ひ致します。

発行日/平成25年6月1日 発行場所/近畿大学医学部附属病院
編集/広報誌発行委員会 大磯 直毅